

学校だより 第13号



心豊かで 確かな学力をもち 心身ともに健やかな子どもの育成

令和6年10月15日 津市立榊原小学校

令和6年度「全国学力・学習状況調査」と「第1回みえスタディ・チェック」の結果について

4月18日(木)23日(火)に、6年生が「全国学力・学習状況調査」を、4月23日(火)に、4年生と5年生がタブレットを使って「第1回みえスタディ・チェック」を実施しました。

国や県から各学年の採点・集計結果等が発表されましたので、本校児童との比較や各教科等の分析結果をお知らせします。本校は児童数が少ないため、個別の「強み」や「弱み」を掌握し指導に生かすことに、より重点を置きます。正答率の比較は、本校の「強み(良いところ)」と「弱み(課題があるところ)」の把握のための参考にし、「強み」と考えられる部分は実践を継続し、「弱み」と考えられる部分の力を伸ばすよう取り組みます。なお、これらの調査から読み取れることは、子どもたちの学力や生活の一部分であり、学校の教育活動の一側面です。保護者のみなさまには、お子様の得意なことや努力を認めながら、今後の学習や生活の励みとなるようなお声かけ、読書習慣・生活習慣の改善へのご協力をお願いします。

4・5年生 みえスタディ・チェック

国語：4年生は三重県の平均(57.5%)を、5年生は県平均(48.6%)をどちらも上回っています。
算数：4年生は三重県の平均(58.5%)を、5年生は県平均(56.0%)をどちらも上回っています。
理科：5年生は三重県の平均(51.8%)を上回っています。(4年生は実施していません。)

《本校の強み(良いところ)》

国語：「知識及び技能」の内容で、主語や述語を選択したり、指示語が指し示す内容を選択したりする問題は全員が正答しています。

算数：「 $12 \div 3$ の式で求められる問題をすべて選択する」県の平均正答率が低い問題もよくできています。「2次元表の数を使って描いた棒グラフを選択する」も全員正答しています。

理科：重さの問題や昆虫の体・育ち方と食べ物の問題、水の温まり方などの問題は県平均正答率を上回り、よく理解しています。

《本校の弱み(課題があるところ)》

国語：資料を読んで、空欄に当てはまるようにいくつかの条件を満たして文章を書く問題に課題が見られました。

算数：「午前10時45分から午後1時30分までの時間を求める」問題は正答率が低かったです。

理科：水の三態変化の問題、データをもとに桜の開花する地域を判断したり、エアコンの風の出る向きと部屋の温度の関係について説明したりする問題にはやや課題がありました。

6年生 全国学力・学習状況調査

国語：全国の平均(67.7%)を上回っています。
算数：全国の平均(63.4%)を上回っています。



《本校の強み(良いところ)》

国語：書くことを除き強みが見られます。資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫することができるかをみる問題は、全国平均が低い問題ですが、全員正答です。

算数：直径22cmのボールがぴったり入る箱の体積を求める式を書く問題や、自転車が分速何メートルかを答える問題は、全国的には課題ありましたが、全員が正答しています。課題であった図形の問題もよく理解していました。

《本校の弱み(課題があるところ)》

国語：①縦割り遊びのよさについて考えたことを書く。②資料の中から言葉や文を取り上げて書く。③60字以上100字以内で書く。の3条件を満たして書く問題に課題が残ります。

算数：道のりが等しく、かかった時間が違う二人の速さについて、どちらが速いかを判断し、その理由を記述する問題では、説明が不足して正答にならなかったところに課題が見られました。

《6年生4人が4/23（火）に回答した児童質問の結果（抜粋）》

「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」等、良い傾向の合計の全国の平均回答率との比較

◎良い傾向 ○同じくらい △課題がある傾向 ☉は100%

自分には良いところがありますか	☉
将来の夢や目標を持っていますか	☉
人が困っているときは、進んで助けていますか	☉
いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか	☉
人の役に立つ人になりたいと思いますか	☉
学校に行くのは楽しいと思いますか	☉
自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか	☉
友だち関係に満足していますか	☉
普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか	☉
地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか	☉
分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか	☉
5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか	☉
学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気づいたりすることができていますか	☉
普段、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲームをしますか	○
普段、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴をしますか	○

【考察と今後の取組】

学習面では、タブレットを授業や家庭学習で活用し、家庭学習と授業を連動させて、基礎基本の定着や自主学習に力を入れた成果が表れたと考えます。引き続き、自分に合った学習方法を見つけ、子どもが主体となって学び合う授業づくりを目指します。また、課題のあった問題や領域等については、復習や関連プリント等で力をつけてまいります。



児童質問の結果からは、点数で測ることができない人の心や社会性に関する力「非認知能力」が育っていることが分かります。これは、保護者・地域の皆様が学校と連携・協働して子どもたちの成長を支えていただいていることが大きく影響していると考えます。また、これまでのなかまづくりや、縦割り活動等の異学年交流、児童会活動、他校や多様な地域の方々との交流学习の成果であるととらえ、継続してまいります。さらに、「非認知能力」の基礎を培う幼児期の教育・保育の学びを小学校の学びにつなぐ「架け橋プログラム」の取組も進めます。

SNSや動画視聴については、長時間になるとそのほかの活動に支障をきたすことや、視力や姿勢など成長への影響が心配されます。また、情報モラル、人権や生命の安全教育にも力を入れていかなければならないと考えています。

学校生活がさらに楽しく、充実したものとなるように、授業や行事等すべての教育活動を通して、成功体験を味わわせ、自己肯定感を高めるとともに、互いを認め合い、安心してチャレンジできるクラスを子どもたち自身でつくっていきけるよう支援してまいります。